

地区目標

ロータリーにもっと誇りを
そして学び DEIの心を持って行動実践しよう

クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、仲間と絆を！

◆点鐘：遠藤 靖彦 会長

◆ロータリーソング：四つのテスト

◆司会：松本 定重 S.A.A.

◆会場：パレスグランデール



第3028回例会

令和6年10月7日(月)

会長あいさつ

遠藤 靖彦 会長



私、ラグビー協会の会長というものをさせていただいております。私ラグビー経験全然ないんですけども、見に行くのは大好きです。

山形県のラグビー自体が、東北の中でラグビー後進県というふうないわれ方をされている部分が多分にあります。そういうなかですが、優秀なラグビーの選手というのはたくさん出ています。

山形では高校でラグビーをしている学校が少ない。また、中学校でラグビーをしているのは一中だけということで、ラグビーをする選手は育たないという問題があります。それをなんとか解消していく、また協会としてある程度いろんなイベントなり、ラグビーを経験するような機会をするために、「ラグビーを支援する会」というものを立ち上げさせていただきました。こちらについては本当にこの西ロータリーの会員の皆さんのなかでも多くの方からご協力をいただいております。

そんななかで今年、明治と慶應の試合を20年ぶりに山形で開催をさせていただくことができました。そしてもう一つ、新しい試みとして、サッカーにJ1というものがありますけれども、ラグビーにもトップリーグというものがあります。実は山形県はいろんな選手も少ないので、そのトップリーグの選手に山形県に来てもらって、いろいろ指導してもらおうと。だったらどこかのチームに、山形県なり市なりと協力関係を結んでもらうようなことができないかというような活動を進めております。

本来チームは、ホームというものを持っています。それで場合によってはセカンダリーホームというものもあります。そのセカンダリーホームになんとか、山形をセカンダリーホームにしてくれないかというふうな話をしているところ、ちょっとまだセカンダリーホームのもう一歩手前の、フレンドリーエリアというかたちとなんかなりそうだなということで、進めているチームがあります。

私もかわりがあるトヨタなのですが、トヨタのチームがトップリーグとしてはヴェルブリッツというチームがあります。こちらともう一つのチームでなんとか山形で11月にプレマッチとして、メインのシーズンが始まる前の練習段階の試合として、山形県でトップリーグ2チームの試合をすることができるという運びになりました。11月16日、天童の総合運動公園で、トヨタヴェルブリッツ対サントリーサンゴリアス。12時キックオフで、今協会としてはなんとかこういうものを持ってきて、そして小中学校の子

ども達にはできるだけ招待で見せながら、ラグビーの楽しみというものをもってほしいなと思い、準備しているところであります。

こんな活動をしているということをご皆さんにちょっと紹介をさせていただいて、ご挨拶とさせていただきたいと思っております。

幹事報告

武田 良和 幹事

- 新入会員をご紹介します。千歳倉庫株式会社の千歳大策さんです。よろしくお祈いします。
- 10月21日月曜日の、それぞれの最上川物語パート2、早朝清掃例会の出欠の締め切りが10月9日となっておりますのでご参加よろしくお祈いします。
- 樹氷を守るチャリティーコンペ、こちら芳賀ガバナーの思いが込められているコンペでございます。そちらが11月4日に開催されますが、こちら10月9日が申し込みの締め切りとなっておりますので、ぜひ奮って参加をお願いします。
- 例会終了後、芳賀ガバナー、ご来場の方を交えて後方で集合写真をお撮りしますので、例会終了後、後方の2テーブルを動かしていただくことにご協力いただきながら、速やかに後方にお集まりいただきたいと思います。そのあとに理事会が開催されます、関係の方はご出席をお願いします。
- 今月のロータリーレートは142円です。

新入会員紹介



千歳 大策 さん

《千歳倉庫株式会社》

千歳倉庫株式会社の千歳大策と申します。この度は、歴史と伝統のある山形西ロータリークラブの入会審査、ご承認いただきまして誠にありがとうございます。生前、父貞治郎が皆さまに大変お世話になりましたことを、改めまして深く感謝申し上げます。また、昨年3月15日、父の葬儀の際、受付のお手伝いをはじめ、過分なお心遣いを賜りましたこと、重ねて感謝申し上げます。

今後とも一期一会の精神と感謝の気持ちを忘れずに精進してまいりますので、皆さま、何卒よろしくお祈いいたします。

委員会報告

社会奉仕委員会

酒巻 雅樹 さん

9月14日、樹氷再生事業のなかで、次年度の春に向けた笹刈りを行いました。早朝から大雨で悪天候のなかでしたが、ロータリーメンバー遠藤会長、長澤直前会長、武田幹事、武田理事、遠藤理事、三沢さん、近藤さん、ボランティアとしてクラフトさんから2名、教員の方と学生1名ということで合計12名で来年の春の種まきの準備の第1回目をさせていただきました。ご協力ありがとうございました。次回は10月26日土曜日、今年種まきをした育苗箱、その撤収作業と、雑草の撤去、育成の管理ということで、また山のほうに登らせていただきたいと思います。10月26日土曜日9時にロープウェイの山麓駅に集合となります。今回もロープウェイの代金3,800円等は各自、個人の負担というかたちになるかもしれませんが、ぜひご協力をお願いいたします。

親睦・家族委員会

会員7名、奥様が2名、10月に誕生日を迎えられます。おめでとうございます。

ニコニコ BOX

〈10月7日〉

芳賀ガバナー、地区副幹事の齋藤様、白鷹ロータリークラブ会員の齋藤様よりニコニコを頂戴いたしました。

遠藤靖彦会長／ガバナーをお迎えて

芳賀ガバナー、本日の公式訪問、ようこそお越しいただきました。また、千歳大策さんの入会を歓迎して。

遠藤栄次郎さん／芳賀ガバナー、来訪ありがとうございます。1年間健康で山形県のロータリーをご指導ください。

細谷伸夫さん／芳賀ガバナーの訪問に感謝して

芳賀ガバナーは実績に裏打ちされた真のガバナーです。ガバナーにロータリーの神髄をご教授いただけることに感謝いたします。

市村清勝さん／千歳大策くんの入会を祝して

千歳大策くんの入会を心からお祝い申し上げます。熱烈歓迎。

長谷川浩二さん／千歳大策さん入会歓迎

貴殿のご両親にはなにかと親身に指導いただきました。

横沢善則さん／千歳大策新入会員をお迎えて

元同僚の千歳さん、ようこそ。引き続きよろしくお願いいたします。

三浦達雄さん／千歳大策様、西クラブご入会おめでとう

待ちに待った友人が仲間に入ってください、心より歓迎いたします。貴殿の人脈、情報網は卓越したものがあり、これからも西クラブでご活躍されることでしょう。剣道を教えたり、神輿を担いだり、忙しいとは思いますが週1回例会で顔を見られるのが嬉しいのでニコニコします。

高橋勝治さん／羽黒山神社に行ってきました

昨年に続き羽黒山神社、そして五重塔を参拝してきました。行きも帰りも石段2446段歩き、約1万歩も歩き、足もだいぶ疲れましたが、神社で御祈禱してもらい、厳かな良い気持ちになりました。

ゲスト卓話



芳賀 康雄 さん

《2024-2025年度国際ロータリー第2800地区ガバナー》

皆さんこんにちは。今日は第5グループ最初の公式訪問となります。今日を皮切りに第5グループから始めていくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

うちのロータリークラブは昭和41年、置賜では5番目です。それで皆さんから見ると9年後にできたクラブでございます。昭和41年に発足して59年目を迎えました。現在の会員は21名ですが、そのうち女性が3名います。楽しさをモットーにしてやっているところでございます。ここから国道348号線で行きますと、35分くらいで行けますので、どうぞお越しいただきたいと思います。

今日はガバナー公式訪問ということで、お話をさせていただきます。これはステファニー A. アーチックさんとの写真でございます。アーチックさんは、ペンシルベニア州出身でございます。女性で2人目の会長さんです。

それでペンシルベニア州のドミニカ共和国、ここに彼女が「ロータリーのマジック」を作ったいきさつがあります。このドミニカ共和国でいわゆる水道水の浄化器のフィルター交換の時に子どもが2人いて、それを見ていた子どもが「今のマジックをもう1回見せて」と。これが彼女の非常に印象に残った。これがドミニカ共和国でございます。そのドミニカ共和国の子どもの言葉を取って「ロータリーのマジック」にしよう、ということで彼女のテーマが決まったのであります。

ついでにこちらジャマイカですね。ここはブルーマウンテンのふるさと、キューバ、ここはマイアミです。今回私が行ったオランダというところはこの辺です。国際協議会の会場でございます。ペンシルベニア州のピッツバーグ、これは第2の都市です。この辺のマクマリーというところ、ここが彼女の出身のクラブでございます。皆さん方には必ず『ロータリーの友』の「エバンストン便り」を読んでもらいたいと思います。

ポリオの根絶。今、パキстанはかなり下火で、この7月の段階では6人だったんです。ところが今は33名になってしまいました。『ロータリーの友』10月号のエバンストン便りに出ていますので見てください。ポリオの根絶はアーチックさんがなんとしても2025年の私の在任中にゼロを記録したいというふうに意気込んでいましたけれども、今度はガザでイスラエルとの戦いで多くの人々が難民といったらいいのか、町がめちゃくちゃになりまして、インフラがみな壊された。それでそこで育てている子どもたちが野生のウイルス

に感染している。何人感染しているかわからない状況です。ですが、イスラエルとの話し合いでワクチンは打つということで、実際に今のところ56万人に1回目の接種が終わりまして、それからWHOがなかに入っ
て交渉して2回目のワクチンを打っております。そういうことで、なんとかここで食い止めたものだとい
う、これが今のポリオの現状でございます。

次、これは後出しでできた言葉です。私が国際協議会に行った時はこれを知りませんでした。「Grow Rotary」、Growというのは育てるという意味です。ロータリーを育て、拡大するということですね。長期的な行動計画を策定しましょう。ロータリーは今まで単年度の計画がほとんどだったのですが、会長が変わるとみな変わる。そういうことだったのですが、そういうことではなくて、3年ないし数年にわたってその計画をぜひクラブでも立ててほしい。地区でもそういうふうにやってほしい。そのために何かやろうということで「最上川物語パート1」を伊藤三之さんに
していただいて、私がパート2、パート3は小松さんがやるということを一昨年決めたところでありました。

それからピースセンターの設立。彼女は今、中東ではもう大戦争が起きていると。そういうことでロータリーの平和構築にはやっぱりロータリーの平和フェローを育てなければならない。ということで、来年2025年にはトルコの、トルコはここね、今問題になっているのはここです。ここがイスラエルという国でガザがここ。ここに200万人が閉じ込められているわけ
です。

今回のいわゆる平和センターを作るのはここでございます。イスタンブールというところ。トルコの都になっています。それで、パーチェシヒル大学という、ここに来年の5月には学生を入れるということで、いわゆる中東の問題が起きているところに大学を作
ってそれで勉強してもらいたい、よりリアルにその状況がわかるということでここに作りました。その代わり、タイにあったものをなくしてこちらに来てお
ります。日本では国際基督教大学がその任に当たっております。

7月1日から変更になったことは、最初「3-year Rolling Target」だったんです、最初。それで3年の計画と目標とあったのですが、ターゲットというのは目標、こんな甘やかなしいものではだめだ、ゴールにするということで「3-Year Rolling Goals」に、これは達成をするよということ
です。それから今まではロータリー賞というのがありましたが、これは伊藤年度で終わり、私の年度からはクラブ優秀賞という名前に変わりました。それから地区では、これも後出し、地区アクションプラン・チャンピオンを置いて、その3年間なり4年間の行動計画の推進役を地区で持ちなさい、こうなりました。これを理解しているパストガバナーでは一番いいのが三之さんですので、伊藤さん
にお願いをしたところでございます。これは、あとは皆さんのところに書いてありますので、見てください。

ポリオについて戻りますが、『ロータリーの友』5月、それから7月号に記載されております。これは8

月、9月。今月10月号はここです。それでパキスタンの状況は3人だったのですが、翌月から、今は33人になってしまいました。したがって、ものすごい勢いで今また逆戻りしているような感じでございます。なお、今月、10月24日は国際ポリオデーに当たっております。ポリオとはなんぞやを皆さん方、ひとつそれぞれの立場でお考えいただければありがたいと思
います。

続いてロータリーカードについて若干触れたいと思いますが、ロータリーカードはポリオに対する支援をしているカードでございます。オリコカードとダイナースというカード会社2社がおこなっております。オリコは大体12億円、それから売上ですとこれ10億円。それで2800地区が入っている地域が実は第1地域という所で、第1地域というのは東京を除く埼玉、千葉、それから新潟を含む北側全部、ここに14地区ござ
います。14人のガバナーがいます。その中で去年の7月から今年の4月までの10カ月間にカードを使った売上が1億6千6百万円あった、カードを使ってね。オリコカードとダイナースを含めて、それで1億6千万円くらい。それに0.3%を掛けますと48万8千円、この48万8千円が自動的にポリオのために使われるので
あります。したがって、皆さま方にもぜひぜひ、オリコカードはタダでできますのでぜひお作りをいただきたい。そのカードはどんなカードかということ、お持ちの方もいらっしゃるかと思いますが、こういうものです。これがオリコカードです。自分でこれ書いて使っ
て買えば、これで自動的にになっていくというのがこのカードでございますので、皆さん方、よろしくお願
いしたいと思います。

続いて、カルガリーについてちょっと触れさせてください。この間、服部陽子さんが来て講演をしてくだ
さいました。クラブ活性化セミナーに来ていただきました。彼女はカルガリー国際大会推進チームメンバー兼推進コーディネーターになっています。日本のね。それで、それぞれの地域に推進員を置くことになりました。服部陽子さんに惚れこまれた伊藤三之さんが、第1地域の14地区を担当して今一生懸命その勧誘をして
いるところでございます。それでどのぐらいの日数がかかるかと言いますと、登録料は526ドルです。これは5日間の登録料でございます。それでこの金額は12月15日で終わりです。そのあと600ドルになるか何円になるかわかりません。ぜひ行ってみたいという
方、よろしくお願
いいたします。

そしてカルガリーはどこにあるかということと西海岸でございます。ここがバンクーバーでこっちがカルガリー。これはロッキー山脈です。ロッキー山脈を渡っています。それでここがカルガリーでございます。ここで来年の6月に国際大会が開かれますので、どうぞ
お願
いしたいというのがお願
いでございます。

これはアフリカのことですね。これがエジプトです。そしてマリ、チャド、ニジェール、スーダン、ソマリア。この辺は砂漠地帯ですが、ここにもロータリーがあるんです。あるんですよ。「えー？」と言うぐらいあります。ニジェールとベナンと、これはガーナチョコレートのガーナです。コートジボワール。聞

いたことはあると思いますね。それで、実はベナンというところから米山奨学生がいたのです。山形大学農学部にいました。その世話をしたのが鶴岡です。彼女はマリエッタさんという学生でございます。今はベナンの国に帰って、そこで研究生を送っています。農作物の関係です。農業ですのですね。そしてここにいる藤川享胤さんがそのとき面倒を見てくれました。彼女を今回地区大会でお呼びします。ホームカミング制度を使ってお呼びして、彼女の、マリエッタさんの現在の米山での思い出話を、20分くらいしかありませんが、お呼びしますので、ひとつお願いしたいと思います。

8月は、これは飛ばしましょう。これもちょっと飛ばして、ロータリーの基本データ、ロータリーにもっと誇りをそして学び D E I の心を持って行動実践しよう、ということが私の思いでございますが、ひとつ私の一番言いたいことを申し上げておきたいと思えます。

ロータリーにもっと誇りを持つために、ロータリーのバッジは常に着用すること。2つ目はロータリーを勉強してほしい。ロータリー文庫をおおいに活用してほしい。3つ目は、ロータリーの目的をぜひ覚えてほしい。これはなぜかと言いますと、ロータリーの目的が出発であり、ゴールであります。それをわからない

でいると、「ロータリーは何をやる場所ですか？」と言うと「奉仕団体です」、それは間違いではないですが、それだけがロータリーではないんです。ですので、ロータリーの目的は自分の職業と合わせてよく覚えてもらいたいと思えます。

そして、ロータリーは進化しなければならない。これが基本になって出てきたのは今の「ロータリーのビジョン声明」です。2015年にロータリーはどのような方向でいかなければならないかということを経理会で決定したのがこの3つの項目。時代に追いついて行かなければならない。そして時代に適応していかなければならない。そして将来に備えなければならない。この3つが基本になって、その後出てきたのがロータリーのこれでございます。地域社会、自分自身、より持続可能な良い変化を生むために人びとと手を取り合って行動する。これが基本なんです。これが基本でこういうふうになって、最初はビジョン声明が出て、これが2017年に出て、そして行動計画になりました。これからロータリー財団、米山、さまざまありますが、ご協力よろしくお願ひ申し上げて私のご挨拶と私の方針を申し上げて終わりたいと思えます。ありがとうございました。



本日出席 (10 / 7)	会員総数	出席会員数
	105名	75名